平成30年度　鳥取連盟「新春懇談会」報告

鳥取連盟指導者養成委員会

委員長　　森脇　昇

１．事業名

　　日本連盟「次世代につなげるスカウト運動セミナー」

　　　中途退団抑止の実現を目指して～新たな組織づくりを考える

２．事業主旨

　　　近年、スカウト数の減少が目立ち、その歯止めをかけること、そして、減少要因でもある中途退団スカウトを抑止することが大切である。そのためには、団としてどう取り組んだらいいのかを、日本連盟の指導のもとに団委員長をはじめとして団内関係者が、そのヒントを得ることにより、これからのより良い団運営につなげるために開催したものである。

３．日　時

　　２０１９年２月２日(土)　１３：３０～１６：３０

４．会　場

　　上井公民館（倉吉市大平町）

５．講　師

　　日本連盟中途退団抑止特別委員会　委員長　　膳師　功

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　委員　　櫻井　茂生

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　委員　　村田　紘一

司会進行：　日本連盟　教育開発部　部長　　吉村　　敏

７．事業内容

（概要）

　　本セミナーを通じて講師の方が参加者の皆様へお伝えしたいことは、新規入団スカウト

があるなかでスカウト数が減少しており、スカウト数の増加もしくは現状維持するには、中途退団抑止を考えることが大切である。中途退団者抑止の方策として、スカウトへの声掛けに努め、相手(スカウト)の立場になって考え、感謝の言葉（ありがとう）をかけることなど行う。また、団組織における団委員、隊指導者の役割を明確にし、夫々が任務を果たす。さらには、地域との連携、保護者とのコミュニケーションに努めるなども必要である。そして、自団を適正に評価し5年10年先を見据え、より良き方向へ改善を図っていく。それには、団委員会、団会議の役割を明確にする。団の新陳代謝を図ること、常識にとらわれない発想の転換なども必要である。

　最後に、地域に根ざしたスカウト育成、綱紀粛正を図り、地域、保護者が子どもを育成する。青少年育成にスカウト運動は取り組んでいる。皆で協力して取り組むことが大切である。